

5月12日

峰床山

伊藤多恵子

山	峰床山 970m	山行名	個人山行	
ルート	学校前バス停—登山口—中村乗越—八丁平—峰床山—オグロ坂峠—八丁平—往路			
山行日	2021. 5. 12	天 候	曇り	
参加者	CL: 伊藤多恵子 SL: 玉井 男性: 西川洋、佐々木 女性: 上田 合計: 5名			
ルート概略図 峰床山→オグロ坂峠 ↑ ↓ 八丁平 ← ↑ ↓ 中村乗越 ↑ ↓ 登山口(二俣) ← 林道入口(駐車地) →	コースタイム			
	地名	時:分	地名	時:分
	新田辺駅	発 7:00	オグロ坂峠	着 12:45
	林道入口	発 8:50		発 12:50
	登山口	発 9:30	八丁平入口	着 13:00
	中村乗越	着 10:45	中村乗越	着 13:10
		発 10:50		着 14:00
	八丁平入口	着 11:00	登山口	発 14:10
	峰床山	着 11:45	林道入口	着 14:40
		発 11:55		発 14:50
山行報告 緊急事態宣言延長のため、個人山行での実施。参加者も半分以下に。峰床山、何年も来ておらず道が荒れていないかやや不安であった。ネットで調べると最近では坊村から鎌倉山経由で入る人が多いようだ。学校前バス停から林道に入ったとたん、車両留めの柵が。幸い脇に小さい駐車スペースがあり、林道を歩いて登山口に向かうことに。江賀谷に沿って30分余り歩くと登山道入り口へ。目印のテープも目立つ。昔あった橋は影も形もなく、早速渡渉することに。岩場で狭まった流れは速くて深い。岩から岩へ飛ぶには距離がある。私は古い丸太の傍に(浅いように見えた)左足を置こうとして、深みに太ももまで落ちる。Tさんもドボン。程度の差はあれ、Nさん以外は全員水に漬かった。やれやれ先が思いやられる、みんなの士気も下がるなあ…と思いつつ、靴の中の水を出して靴下をしぼる。渡渉は2,3ヵ所と覚えていたのだけど、実際は6ヵ所ぐらいあった。でも、どうせ濡れているし、最初程の流れはもうない。平気でバシャバシャ歩いた。右岸、左岸と行ったり来たり、その合間には斜面の細いトラバース道もあり、おそるおそる歩く。川沿いのルートは見つけにくいものだけど、要所にピンクのテープがしっかりと巻いてあるので迷うことはなかった。ようやく川を離れる地点に出てほっとするも、そこからは杉林の中の急坂。2時間あまりかけてやっと中村乗越に出ると心が晴れ晴れとするような別世界が広がっている。八丁平を見下ろす新緑の谷だ。すぐに八丁平一周の分岐点に出て、周遊路を辿る。周辺には鹿害を防ぐための防護柵が張り巡らされて柵外に生えている木の一本一本にまで金網が巻かれている。途中には笹も食べ尽されてしまったハゲ野原もあった。道はよく整備されていて、昔のまま歩き易い。標識も新しく作られていた。やがて峰床山の頂上に。ただ、この日の天気予報通りの曇り空のうえに、風が強くて寒いこと。どこか風のないところで休もうとどンドン下りていくが、尾根だから風が吹き抜けるばかり。そのうち、Nさんが「お腹がすいた、もうあかん!」と後ろから叫ぶ。少し風の弱い斜面でお昼ご飯。八丁平に戻ってからは同じコースを下ったので、安心感が。渡渉も楽々。最初に渡った地点だけ、Nさんの手を借りる。帰りに林道からよく眺めるともう少し下った地点には楽に渡れる箇所がいくつもありそうだった。				
林道に出て沢の音を聞きながら歩いていると、全員無事に帰れたことに気分が高揚。ポツポツと雨が降ってきてももう大丈夫。久しぶりに本当の山を歩いた気がするというSさんの感想も嬉しかったです。沢の刻む自然の地形と濃密な山の気配を堪能できる変化の多いコースだったかと思えます。人っ子一人出会わない静かな山歩きでした。				
ヒヤリハット なし				

